診療科・対象疾患	外科・胃癌
プロトコール名	Pembrolizumab+Trastuzumab+FP（初回）
1コース日数	21日
催吐リスク分類	高度

薬剤名	投与量	day1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21							
キイトルーダ注	200mg/body	●																										
トラスツズマブ注	8mg/kg	●																										
シスプラチン注	80mg/㎡	●																										
フルオロウラシル注	800mg/㎡	●	●	●	●	●																						

治療スケジュール

処方

（必要時）オランザピン錠（2.5）　2錠　1日1回　夕（day1、2、3、4）

※ 治療前日から翌々日まで、輸液負荷を行うこと
※ 1日尿量が3000mL以上になるように調整
※ 当日は測尿を行う
※ シスプラチンは最大6コースまで
※ トラスツズマブ注は投与予定日より1週間以上後に投与する場合は改めて初回投与量で行う
※ トラスツズマブ注の溶解液量は60mgが3.0mL、150mgが7.2mL

Day1

生食　500mL（ルート確保用）
→ 5時間 →
生食 100mL　キイトルーダ注 200mg/body
→ 30分 →
生食 50mL
→ 15分 →
生食 250mL　トラスツズマブ注 8mg/kg
→ 90分※ →
生食 50mL
→ 15分 →

フィルター付ルート使用
キイトルーダ投与中は生食を止める

※2回目以降、30分に変更可能
トラスツズマブ投与中は生食を止める

アロカリス注 235mg　パロノセトロン点滴 0.75mg　デキサート注 9.9mg
→ 30分 →
生食 50mL
→ 15分 →
20%マンニットール注 300mL
→ 90分 →
生食 300mL　シスプラチン注 80mg/㎡
→ 2時間 →
フィジオ140 500mL（5-FUと同時投与）
→ 5時間 →
生食 500mL　フルオロウラシル注 800mg/㎡
→ 24時間持続 →

※ *フィルター不可*

Day2-5

デキサート注 6.6mg
→ 静注 →
フィジオ140　500mL（5-FUと同時投与）
→ 5時間 →
生食 500mL　フルオロウラシル注 800mg/㎡
→ 24時間持続 →
フィジオ140　500mL（5-FUと同時投与）
→ 5時間 →